

トランプのアメリカと日本

元駐米特命全権大使
杉山晋輔

* 高市総理の外交デビューと台湾発言

* 2期目も変わらぬトランプ

* 国論を二分したTPP論議

* 難航した日米物品貿易協定

* 5500億ドル投資の実情

* 七艦訪問は象徴

* 日米同盟が盤石な日本は強い

* 想定される存立危機事態と戦後史

* 中国には理論的にきちんと説いていく



山縣 それでは開会いたします。（拍手）

本日の講師をご紹介します。本日は、アメリカ駐在で特命全権大使を務められました杉山晋輔様にお越しいただきました。

杉山さんは、外務省に入られて、外務審議官、外務次官、駐米大使とお務めになりました。2016年にトランプ大統領が選挙に勝つてすぐ、まだオバマ大統領の在任中に、安倍首相がトランプタワーに行つてトランプに挨拶をしたときの舞台回しなどもなさった方であります。

今回、トランプさんが来日されて10月27日から3日間滞在され、高市総理とも会談を行いました。その後、高市さんの国会での台湾発言をめぐりまして日中関係が非常に大きく変化をし、当然それはアメリカとの関係も絡んでいます。

皆さんにお配りした資料は少し前の時点であつていただいたもので、本日は後半に、日中関係が今混乱している問題をどう考えるかについてもお話しいただけるということであります。

駐米大使をなさった方はたくさんいらっしゃいますが、杉山さんは最もトランプ大統領を研究され、必死に対応された方だと思えます。次官のときの1年間もそうですし、その後、駐米大使としてバイデン氏が就任するまでの3年間は、ずっとアメリカの最前線で指揮を執っておられました。表舞台での安倍首相とトランプさんの姿はニュース等々でわれわれは見るわけですが、舞台裏ではいろいろな準備が必要なので、そういうご苦労をなさってきた方です。そういう意味で、今、日本の中でいけばんと